



日本の遊園地の現状

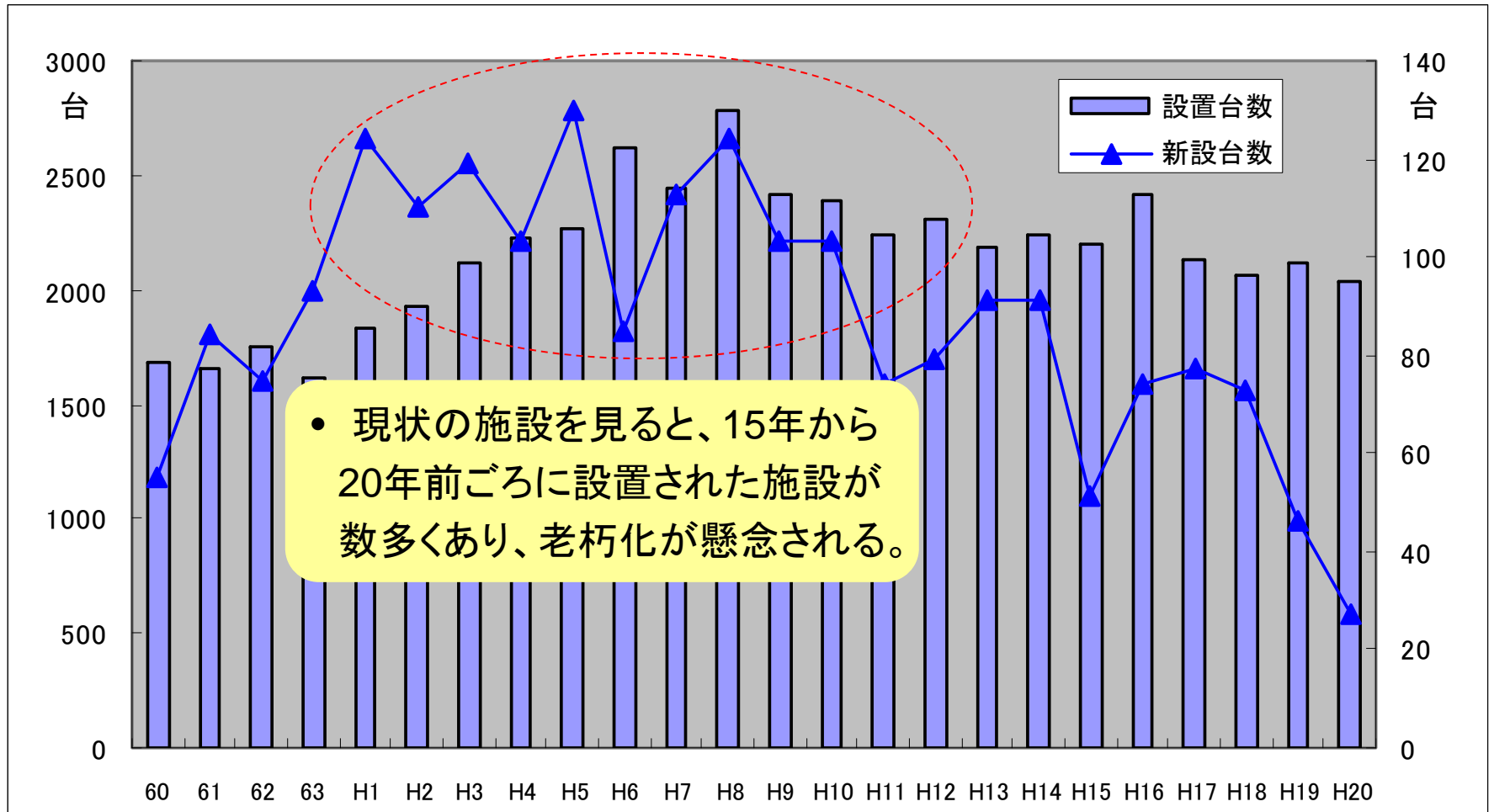
主な日本の遊園地・テーマパークの数

遊園地の数	66	242
テーマパークの数	80	27
合計	146	269

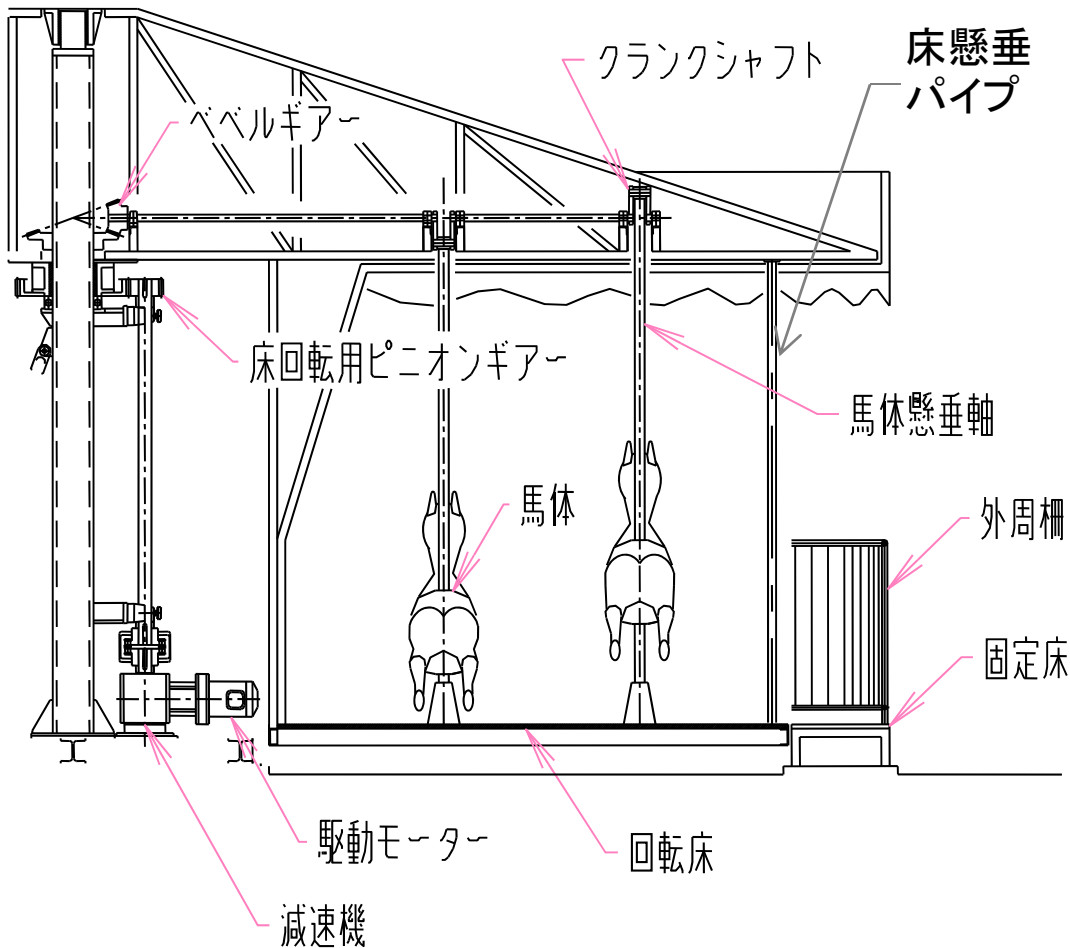
閉園して営業をやめた
パーク

- ・ 少子化、新型インフルエンザ、景気の悪化などの要因により、経営自体は厳しい状況にある。
- ・ 大阪の遊園地の事故以来、総務省のアンケートや検査標準の告示化などにより、安全に対する認識や必要性は各所有者の意識として高まってきていることは実感として感じられる。
- ・ 入園者も少ない小さい遊園地などでは、安全に費やす費用がなかなか捻出できない現状がある。
 OLC、USJとは当然同じこと出来ない。
 また比較にならない稼働数なのでその必要も無い……
- ・ 各遊園地にあった安全に対する取り組みを模索している。

遊戯施設の設置台数



メリーゴーランドの構造の例



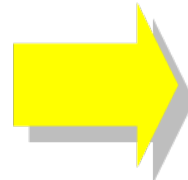
- ・ 遊戯施設は、古くから特有の技術を用いるものがあり、特殊なものがある。
- ・ 遊戯施設の維持保全技術は、建築技術、機械技術、電気、電子技術など多岐にわたっており、これらを浅く広く理解できる技術者が不足している。
- ・ 最近では海外からの輸入機械が多いため、図面類の不備、PLCのプログラムなどブラックボックスとされているものがあり、維持保全に支障をきたす場合がある。

予防保全の考え方

事後保全

守りのメンテナンス

故障が起きた都度に修理しながら保守を行う事後保全の考え方



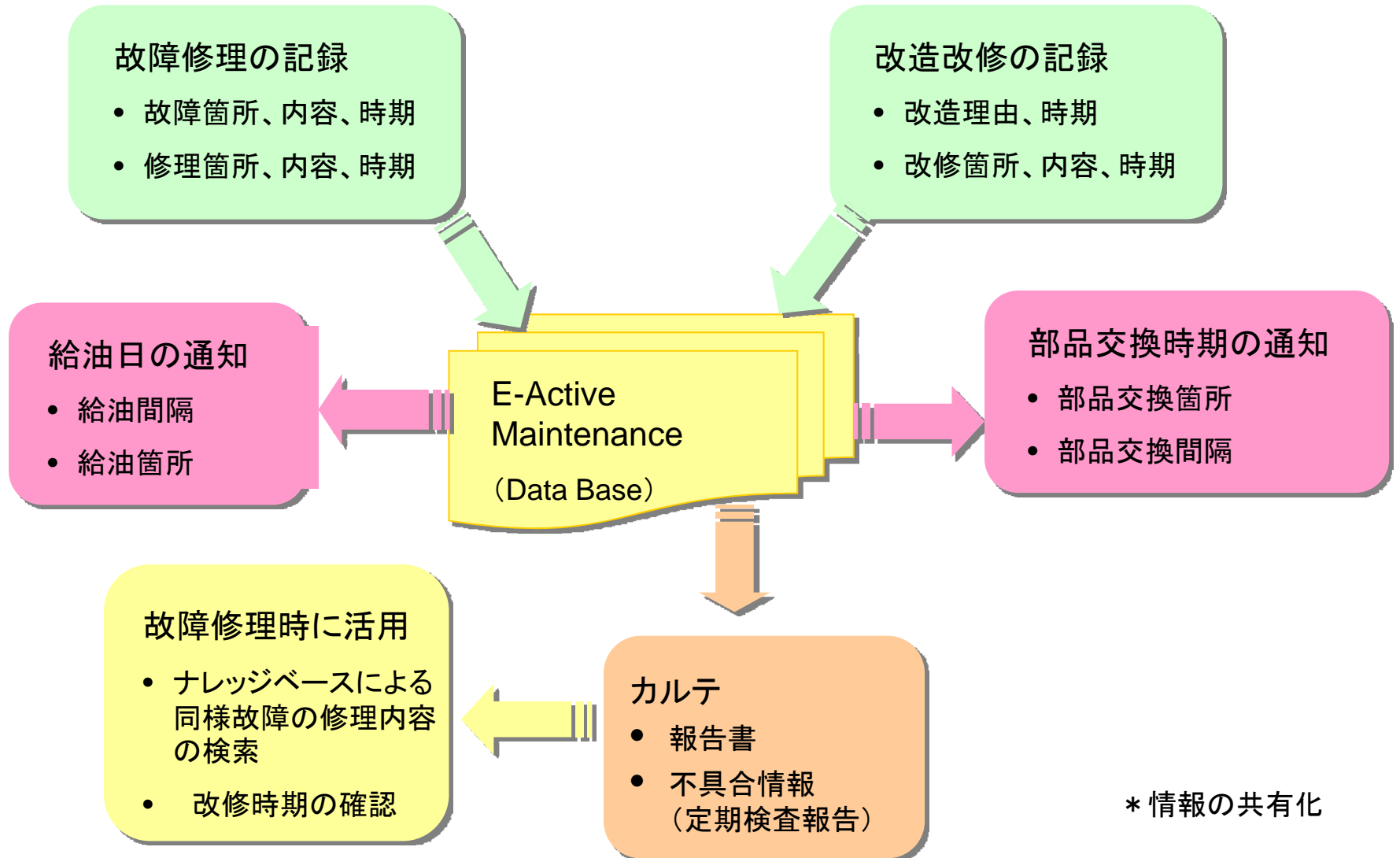
予防保全

攻めのメンテナンス

故障を未然に防止するために計画的に劣化損耗箇所を保全する考え方

具体例

- 適切な点検周期を推測し、目視点検計画、給油計画などにより定期的に保守を行う。
- 消耗部品の交換時期(寿命)を推定し、定期的に交換する。
- 部品交換、目視点検、給油などの作業記録、故障修理記録をDATA化し、故障修理時に速やかな修理、修復を可能にする。
- 長期修繕計画を立案し、予算化して実行する。



日本における遊戯施設の安全確保

